

## ナミビア月報

(2019年12月)

在ナミビア日本国大使館

### 【内政】

- ガインゴブ大統領，前回に比べ票を落とすも，第2期の再選を果たす。南西アフリカ人民機構(SWAPO)勝利
- 不祥事を起こした元大臣，SWAPO 候補者リスト（比例代表名簿）から除名される
- 検察長官，汚職スキャンダルに重点を置く
- イトウラ氏を含む汚職疑惑の元大臣等は，逮捕を不当として保釈を高裁に訴えるも却下された

### 【外交・対外関係】

- 中国，ガインゴブ大統領の勝利を祝す

### 【経済】

- アジの捕獲量，閣議にて承認される
- ナミビア，経済を楽観視
- 中国企業，9億ナミビアドルで鉄道事業を落札
- 人員削減された漁民の再雇用

### 【内政】

- ガインゴブ大統領，前回に比べ票を落とすも，第2期の再選を果たす。南西アフリカ人民機構(SWAPO)勝利

ガインゴブ大統領は，前回と比較して，大量に票を落としたものの，第2期の再選を果たした。前回の2014年の選挙では87%という圧倒的な票数を確保した「ガ」大統領であったが，今回は前回に比べおよそ30ポイント下落し，56.3%の票を確保した。他候補では，無所属候補のパンドゥレーニ・イトウラ氏が29.4%，人民民主運動のマクヘンリー・ヴェナーニ氏が5.3%，土地無き人々の運動のベルナドウス・スワートボイ氏が2.7%の票を獲得した。(2日付ナミビアン紙1面，ニューエラ紙1面，ナミビアンサン紙1面)

- 不祥事を起こした元大臣，SWAPO 候補者リスト（比例代表名簿）から除名される

1日，ガインゴブ大統領は，SWAPO 事務局が，新国会における与党の国民議会候補者リスト（比例代表名簿）から，汚職を犯した33番目の候補であるバーナード・エサウ前漁業・海洋資源大臣及び53番目の候補サキウス・シャンガラ前法務大臣の除名を決定したことを発表した。「ガ」大統領は，「エ」前漁業・海洋資源大臣及び「シャ」前法務大臣の除名

の理由として、憲法上、禁固刑を科された者は、国会議員としての資格を剥奪されることを明確にした上で、同じく不祥事を起こしたものの、罰金刑のみを科され、除名を免れたナミビア・ワイルドライフリゾート(NWR)常務取締役トビ・アウピンディ氏、及びカトリーナ・ハンセ＝ヒマルワ前教育・芸術・文化大臣との差異について改めて言及した。(3日付ナミビアン紙1面、ニューエラ紙1面、ナミビアンサン紙1面)

#### ●**検察長官、汚職スキャンダルに重点を置く**

アイスランドに本社を構える Samherji 社ナミビア支社にて、2016年まで、局長を務めていた Johannes Stefansson 氏が、腐敗防止委員会から、調査結果が保留中の Fishrot 事件(漁業権に対してのリベート)の証人として法廷に召喚されることが明らかになった。Martha Imalwa 検察長官は、2000年に制定された刑事事件に関するナミビア国際協力法に基づき、同事件についてアイスランド当局と協議を進めている。(4日、5日付ナミビアン紙1面、ニューエラ紙1面、ナミビアンサン紙3面)

#### ●**イトウラ氏を含む汚職疑惑の元大臣等は、逮捕を不当として保釈を高裁に訴えるも却下された**

不祥事を起こした前漁業大臣、前法務大臣を含んだいわゆる Fishrot 事件の被疑者たちが逮捕を不当として高裁に保釈を求め、13日緊急の提訴を行い、19日弁論が行われた。27日、高裁は申し立てを却下、被疑者たちは年末年始を含め引き続き拘束されることとなった。(30日付ナミビアンサン紙1、3面ほか)

#### ●**大統領選挙出馬者、最高裁判所に投票結果を控訴する**

無所属候補のパンドウレーニ・イトウラ氏を含めた大統領選挙出馬者5名が、最高裁判所にて、11月に行われた大統領選挙の結果を控訴することが明らかになった。「イ」氏弁護士のエリーズ・ンジャベラ・アンギウラ氏によって提出された宣誓供述書によると、「イ」氏は今般の大統領選挙が国会によって定められた手続きに則っておらず、憲法上の要求に応じていないとし、大統領選挙の無効と、最高裁判所による大統領選挙結果の撤回を要求している。(13日付ニューエラ紙3面、ナミビアンサン紙1面)

### 【**外交・対外関係**】

#### ●**中国、ガインゴブ大統領の勝利を祝す**

3日、華春瑩中国外務省報道官は、ガインゴブ大統領の再選と円滑に執行された選挙を祝した。声明の中で、両国における長年の友好について述べ、包括的且つ戦略的なパートナーシップを強化し、両国民が利益を得られるような、相互利益協力関係を築く準備は整っている旨発言した。(5日付ニューエラ紙12面)

### 【**経済**】

### ●アジの捕獲量、閣議にて承認される

3日、スタンレー・シマター情報・通信技術大臣は、2020年1月1日から12月31日までの商業用漁獲水産における新漁獲枠を発表した。第20回閣僚会議にて決定された同漁獲枠ではアジ(horse mackerel)、大猿猴蟹(deep sea red crab)の捕獲上限量をそれぞれ330,000メートルトン、3,900メートルトンと規定した。(3日付ニューエラ紙6面)

### ●ナミビア、経済を楽観視

13日、ムーディーズによるナミビアの長期金融債務格付けの引き下げを受け、カレ・シユレットヴァイン財務大臣は、ナミビア政府が同国経済成長の見通しに対し楽観的である旨を述べた。「シ」大臣は、2017年の同社による降格を受けて以来、ナミビアが、マクロ財政構造を安定させており、経済を中長期的に安定した好景気へと導き、持続的な成長軌道を描くことに自信を持っている旨発言した。(9日付ニューエラ紙1面、ナミビアンサン紙1面)

### ●中国企業、9億ナミビアドルで鉄道事業を落札

中国国有企業である中国葛洲坝集团股份有限公司(China Gezhouba Group Co., Ltd)は、9億ナミビアドルで鉄道事業を落札した。同事業は、ウォルビスベイ、クランツバーク間の鉄道線路の改良を目的とした案件であり、28日間で8,900万ナミビアドルの履行保証を義務づけられている。(12日付ナミビアンサン紙1面)

### ●人員削減された漁民の再雇用

10日に行われた汚職防止デモンストレーションの翌日、アルバート・カワナ漁業・海洋資源大臣代行は、漁業関係者に対し、ウォルビスベイの漁業企業ナムソフの倒産により失業した500から700名の漁民を再雇用することを発表した。数年間にわたる漁業業界での失業者増加は、Fishrot事件(漁業権に対してのリベート)に関与した容疑者への漁業権再配分に起因している旨、広く報道されていた。(12日付ナミビアン紙3面、ニューエラ紙1面、ナミビアンサン紙1面)

(了)